



J

AV レシーバー

*RX-A870*  
*RX-A770*

## スタートアップガイド

準備と接続 ..... 3 ページ

基本的な操作 ..... 14 ページ

- ご使用の前に「取扱説明書」の「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 本書では、5.1 チャンネルシステムまたは 5.1.2 チャンネルシステム（フロントプレゼンスピーカー使用）の設置と本機の設定を手順に沿って案内しています。さらに、BD/DVD の再生やラジオ放送の受信など、基本的な操作についても説明しています。説明には RX-A870 のイラストを使っています。「RX-A870 のみ」のように機種が明記されていない内容は、RX-A770 も共通です。

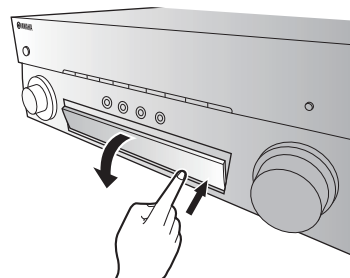


## AV SETUP GUIDE

「AV SETUP GUIDE」は AV レシーバーとテレビ、プレーヤーなどの再生機器との接続、スピーカーとの接続をわかりやすくガイドするアプリです。詳しくは、App Store または Google Play で「AV SETUP GUIDE」を検索してください。

## 前面カバーの開閉（RX-A870 のみ）

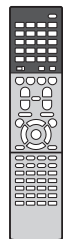
カバー内部のキーや端子を使うときは、カバーの下側をそっと押してカバーを開いてください。使わないときは閉じてください。（指をはさまないようご注意ください。）



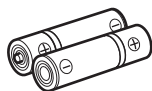
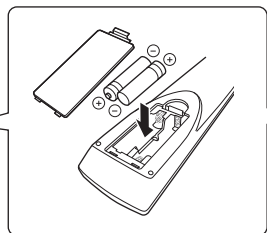
# 1

## 準備する

### 付属品を確認する



リモコン



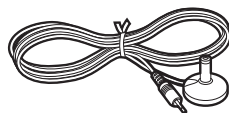
単4乾電池（2本）



AM アンテナ



FM アンテナ



YPAO 用マイク



電源コード

取扱説明書  
スタートアップガイド（本書）

### ケーブルを用意する

本書の説明どおりに接続する場合、以下のケーブルを別途ご用意ください。

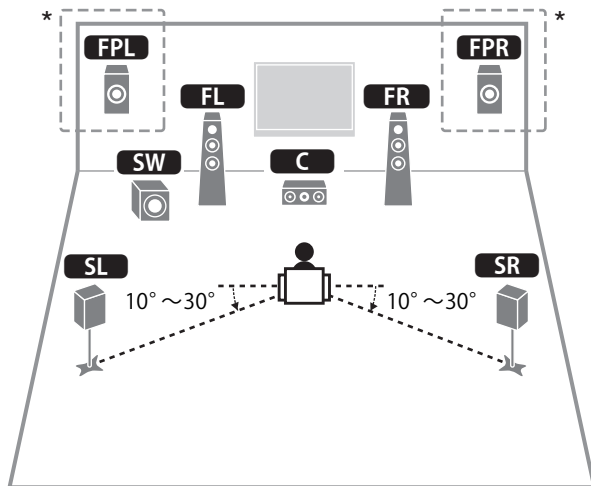
- スピーカーケーブル（スピーカーの本数分）
- モノラルピンケーブル（1本）
- HDMI ケーブル（3本）
- ネットワークケーブル（1本）（ルーターと有線接続する場合）

# 2

## スピーカー / サブウーファーを接続する

### スピーカーの配置

図を参考にスピーカーを配置してください。



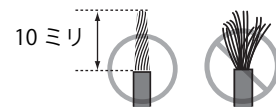
- FL** フロントスピーカー (左)
- FR** フロントスピーカー (右)
- C** センタースピーカー
- SL** サラウンドスピーカー (左)
- SR** サラウンドスピーカー (右)
- FPL** フロントプレゼンススピーカー (左) \*
- FPR** フロントプレゼンススピーカー (右) \*
- SW** サブウーファー

\* 5.1.2 チャンネルシステム

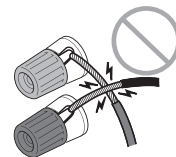
### スピーカーケーブル接続時のご注意

- 本機の電源は入れないでください。また、サブウーファーの電源を切ってください。
- スピーカーケーブルの加工は本機から離れた場所で行ってください。スピーカーケーブルの芯線の切りくずが本機内部に入ってショートし、故障の原因となります。
- 誤った方法で接続すると、スピーカーケーブルがショートし、本機やスピーカーが故障する原因となります。

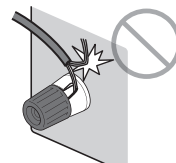
– スピーカーケーブル先端の絶縁部（被覆）を約 10 ミリはがし、芯線の先端をしっかりよじる



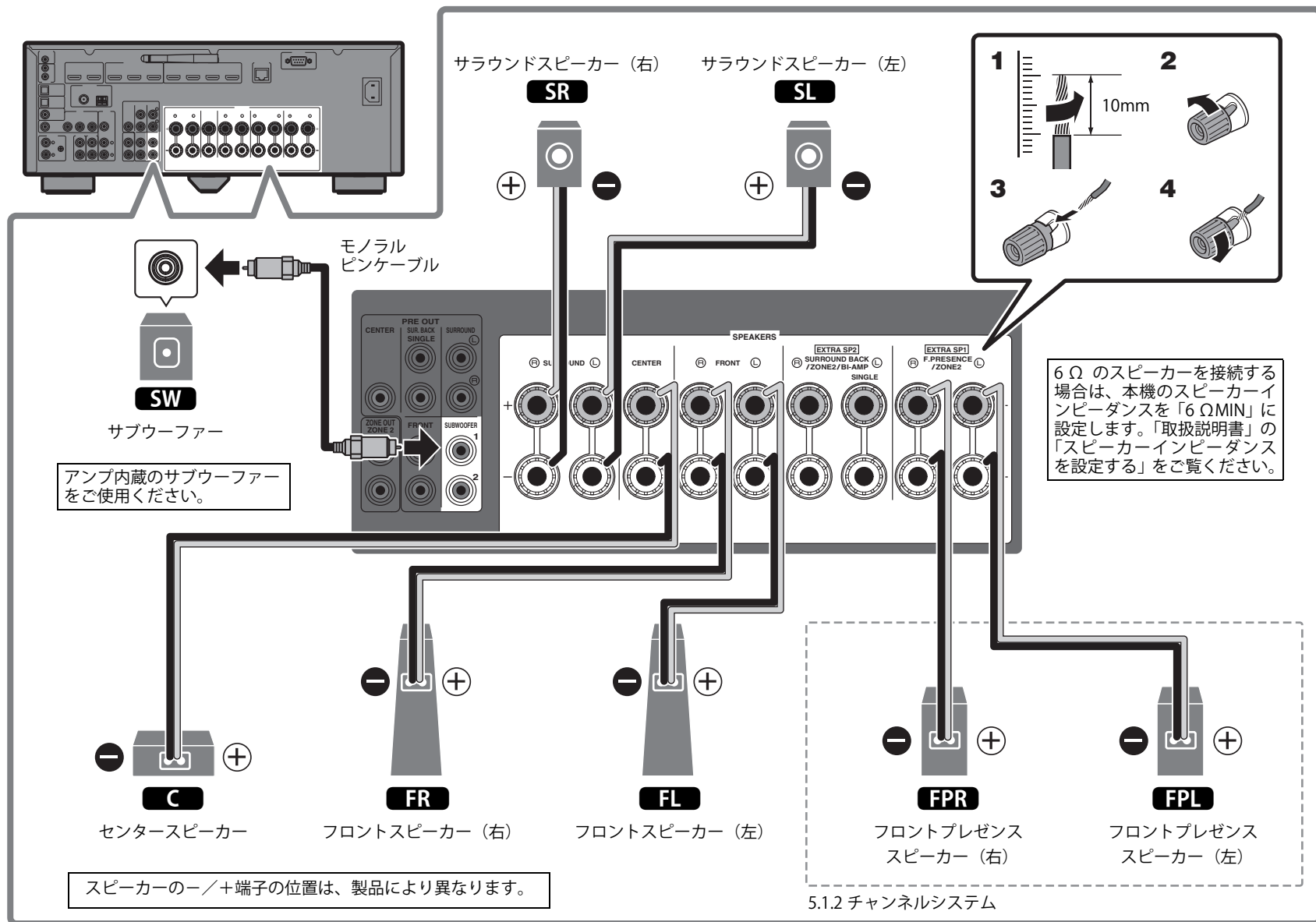
– 芯線どうしを接触させない



– 芯線を本機の金属部（背面のパネル、ネジ）に接触させない

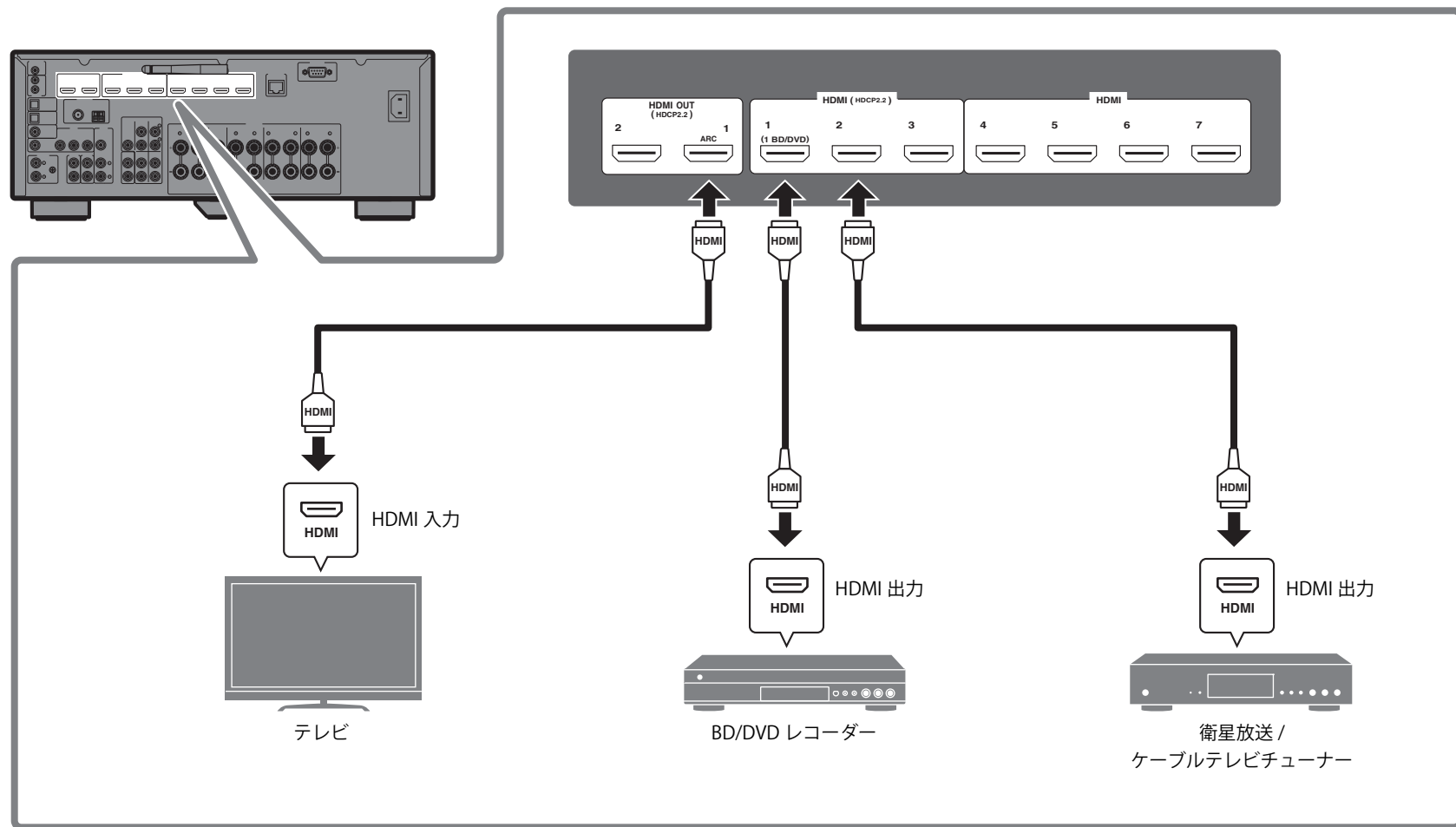


電源を入れて前面ディスプレイに「Check SP Wires」と表示された場合は、電源を切り、スピーカーケーブルがショートしていないか確認してください。



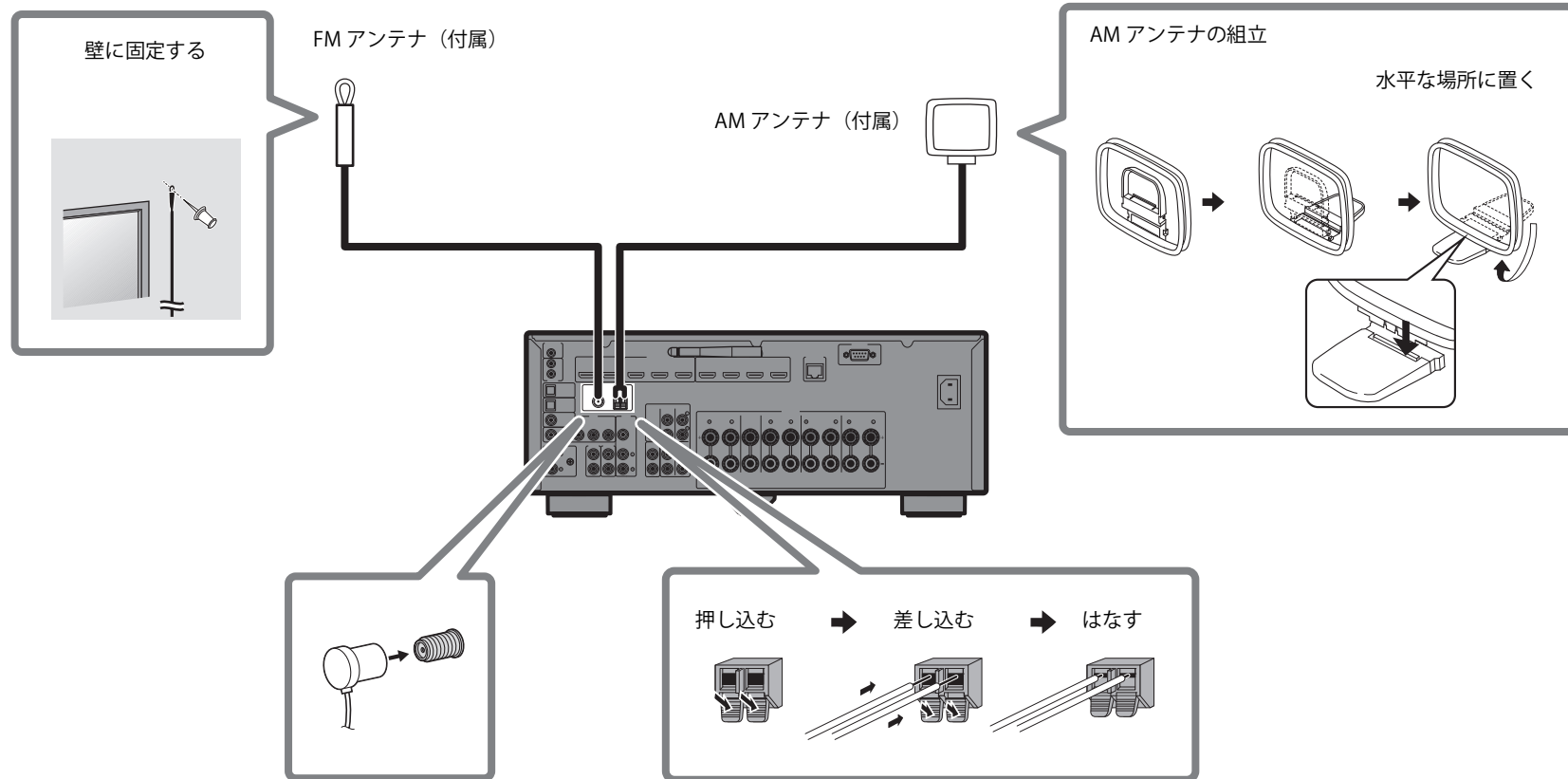
# 3

## 外部機器を接続する



# 4

## FM/AM アンテナを接続する



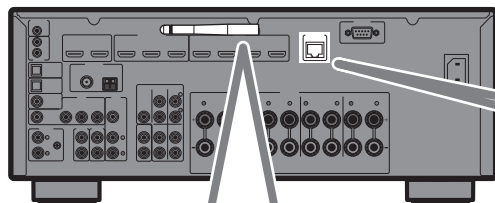
# 5

## ネットワーク接続を準備する

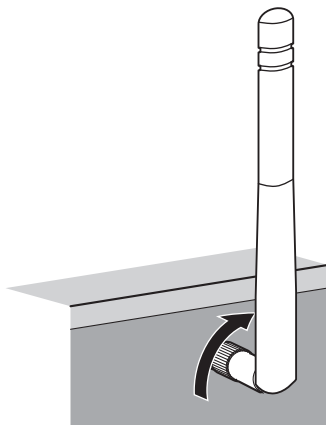
お使いのネットワーク環境に合わせて、無線ネットワーク、または有線ネットワークに接続する準備をします。

### NOTE

Bluetooth 接続をご利用になる場合も、無線アンテナを立ててください。



### 無線ネットワーク

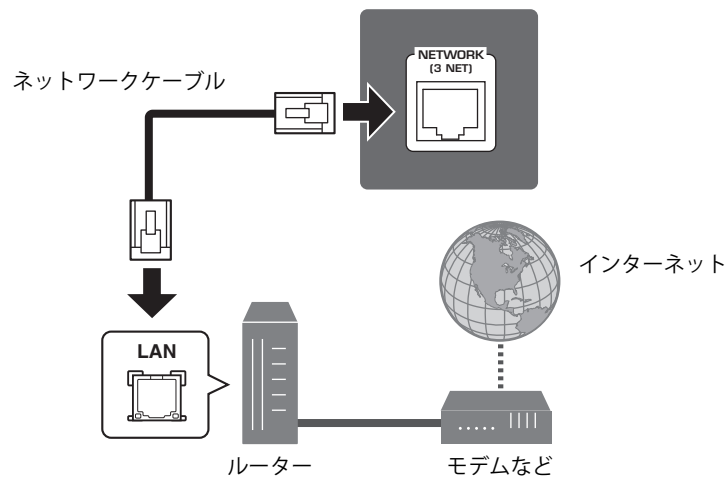


無線アンテナを立てます。  
(無線ルーター (アクセスポイント) への接続は、手順 **7** で行います。)

### NOTE

無線アンテナに極端な力を加えないでください。破損するおそれがあります。

### 有線ネットワーク

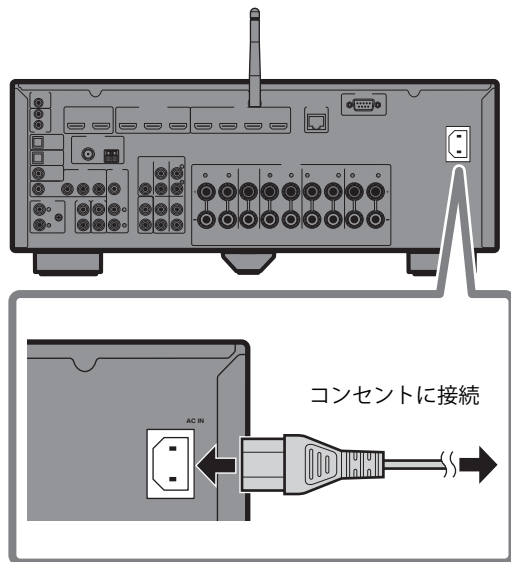




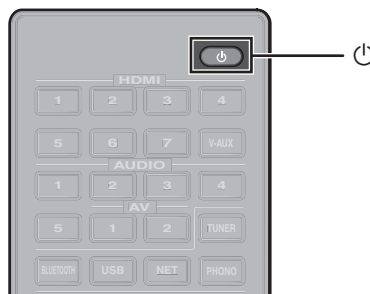
# 6

## 電源コードを接続し、本機の電源を入れる

**1** 電源コードをコンセントに接続する。

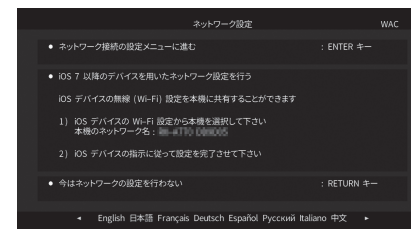


**2** ㊦ (レシーバー電源) キーで本機の電源を入れる。



**3** テレビの電源を入れ、テレビ側の入力を本機 (HDMI OUT 端子) からの映像に切り替える。

ご購入後はじめて本機の電源を入れると、次のようなネットワーク設定画面がテレビに表示されます。この画面が表示されるまで数十秒かかることがあります。(画面に表示されている WAC は、Wireless Accessory Configuration の略です。)



この機能を使ってネットワークに接続する場合は、取扱説明書「ネットワークに接続する」の「iOS デバイスを使って無線設定する」をご覧ください。

本書では、この機能以外でネットワークに接続する方法を説明しています。次ページの「ネットワークに接続する」に従って操作してください。

### NOTE

本機とルーターをネットワークケーブルで接続している場合、この画面は表示されません。

## 無線ネットワークに接続する場合

- モバイル端末(スマートフォンなど)に MusicCast CONTROLLER アプリ ※ をインストールして、ネットワークに接続できます。[A] の方法に従って操作してください。
- モバイル端末を使わない場合は、WPS 対応の無線ルーター（アクセスポイント）に接続する [B] の方法をお試しください。その他の接続方法については「取扱説明書」をご覧ください。

## 有線ネットワークに接続する場合

- モバイル端末(スマートフォンなど)に MusicCast CONTROLLER アプリ ※ をインストールして、ネットワークをご利用になるには [A] の方法で接続してください。
- モバイル端末を使わない場合は、ここでの設定は不要です。手順 8 へお進みください。

※ モバイル端末用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使って、本機はもとより MusicCast 対応機器のネットワーク設定を簡単に行えます。また、このアプリを使ってスマートフォンやサーバー、インターネットラジオなどの音楽を本機で再生できます。

さらに、これらの豊富なコンテンツを MusicCast ネットワーク内のすべての機器で同時にお楽しみいただけます。

詳しくは、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.yamaha.com/musiccast/>

## [A] MusicCast CONTROLLER アプリを使って接続する

本機のネットワーク接続と MusicCast への登録を同時に行います。

## NOTE

- お使いになるモバイル端末がご家庭のルーターに接続されているか、確認してから操作してください。
- ネットワークに無線接続する場合は、使用する無線ルーター（アクセスポイント）の SSID とセキュリティキーを準備してください。
- MusicCast CONTROLLER アプリの画面は表示例です。画面はアプリのバージョンによって異なります。

### 1 モバイル端末に MusicCast CONTROLLER アプリ をインストールし、アプリを開く。

Apple Store または Google Play で「MusicCast CONTROLLER」を検索し、インストールしてください。

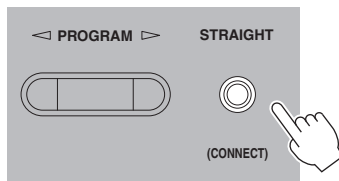
### 2 「設定する」をタップする。



### 3 本機の電源が入っていることを確認し、「次へ」をタップする。



### 4 アプリ画面の案内に従って、本機前面の CONNECT ボタンを 5 秒間押す。



### 5 アプリ画面の案内に従って、ネットワークを設定する。

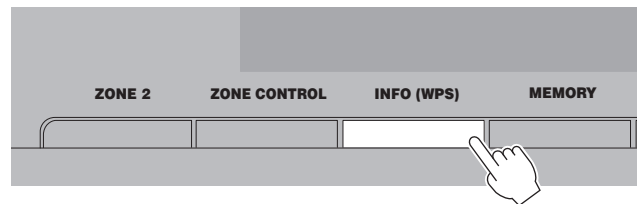
接続が完了すると、本機の前面ディスプレイに「Completed」と表示されます。

これで、MusicCast CONTROLLER アプリを使ったネットワークの接続が完了し、本機は MusicCast に登録されました。

## B WPS ボタンを使って設定する

無線ルーター（アクセスポイント）の WPS ボタンを押すだけで、簡単に接続することができます。

### 1 本機前面の INFO（WPS）キーを 3 秒間押し続ける。



前面ディスプレイに「Press WPS button on Access Point」と表示されます。

### 2 無線ルーター（アクセスポイント）の WPS ボタンを押す。

接続が完了すると、本機の前面ディスプレイに「Completed」と表示されます。

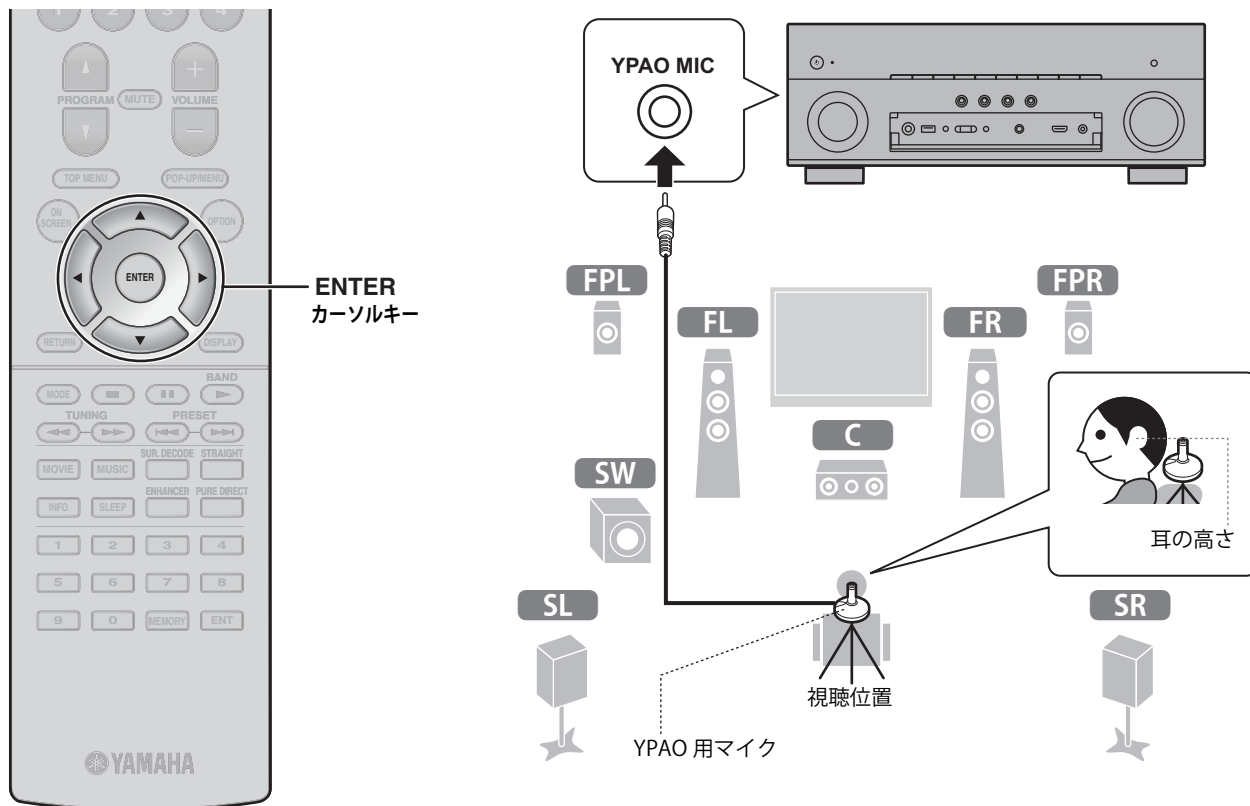
#### NOTE

「Not connected」と表示された場合は、手順 1 からやり直すか、別の接続方法をお試しください。

# 8

## スピーカー設定を自動で調整する (YPAO)

付属の YPAO 用マイクを使って、スピーカーの接続や視聴位置との距離を検出し、音量バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します (YPAO: Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)。

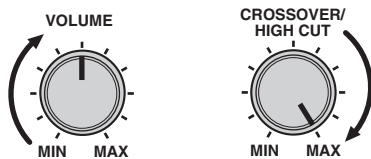


YPAO 使用時は次のことにご注意ください。

- 測定中は大きな音が出力されます。小さなお子様がいらっしゃる場合は十分にご配慮ください。
- 測定中は音量を調節できません。
- 測定中は部屋を静かに保ってください。
- 測定中は部屋の後方の隅にとどまり、スピーカーと YPAO 用マイクの間を遮らないようにしてください。
- ヘッドホンは接続しないでください。

## 1 サブウーファーの電源を入れ、音量を半分に調節する。

クロスオーバー周波数を調節できる場合は最大にする。



## 2 付属の YPAO 用マイクを視聴位置に置き、前面の YPAO MIC 端子に接続する。

テレビに次の画面が表示されます。



### NOTE

YPAO 用マイクを視聴位置（耳の高さ）に置きます。三脚などをマイクスタンドとしてお使いください。三脚のネジを使ってマイクを固定できます。

## 3 カーソルキーで「測定」を選び ENTER キーを押す。

10 秒後に測定が始まります。所要時間は約 3 分です。

測定が終わると、テレビに次の画面が表示されます。



### NOTE

エラーメッセージ（E-1 など）や警告メッセージ（W-2 など）が表示された場合は取扱説明書「スピーカー設定を行う」の「YPAO のエラーメッセージ一覧」または「YPAO の警告メッセージ一覧」をご覧ください。

## 4 カーソルキーで「保存 / キャンセル」を選び、ENTER キーを押す。

## 5 カーソルキーで「保存」を選び、ENTER キーを押す。

## 6 カーソルキーで「はい」（YPAO ボリューム有効）を選び、ENTER キーを押す。

## 7 YPAO 用マイクを本機から取り外す。

これでスピーカー設定は完了です。

# 基本的な操作

ここからは、BD/DVD 再生やラジオ放送受信など、基本的な操作をご案内します。ほとんどの機能はリモコンで操作できます。

## リモコンで操作する

本機の入力と設定をワンタッチで切り替えます(シーン機能)。  
本機がスタンバイのときは、電源が入ります。  
購入時の各 SCENE キーには、以下の設定が登録されています。

| SCENE キー                  | 1                 | 2               | 3                        | 4                        |
|---------------------------|-------------------|-----------------|--------------------------|--------------------------|
| 入力                        | HDMI1             | AUDIO1          | NET<br>RADIO             | TUNER                    |
| 音場プログラム                   | MOVIE<br>(Sci-Fi) | STRAIGHT        | MUSIC<br>(7ch<br>Stereo) | MUSIC<br>(7ch<br>Stereo) |
| ミュージック<br>エンハンサー          | オフ                | オン              | オン                       | オン                       |
| HDMI 出力端子<br>(RX-A870 のみ) | HDMI OUT<br>1+2   | HDMI OUT<br>1+2 | HDMI OUT<br>1+2          | HDMI OUT<br>1+2          |

本機の電源を入 / 切 (スタンバイ) する

入力を選ぶ

本機には、さまざまな音場プログラムやサラウンドデコーダーが備わっています。視聴する内容に応じて、好みのサウンドを選べます。

**STRAIGHT**：音場効果をかけずに、オリジナルチャンネルの音声をお楽しみいただけます。

**PURE DIRECT**：最低限再生に必要な機能を除き、各種の回路（前面ディスプレイなど）が停止されます。これによりノイズの混入を防ぎ、原音により忠実な音質で再生できます。

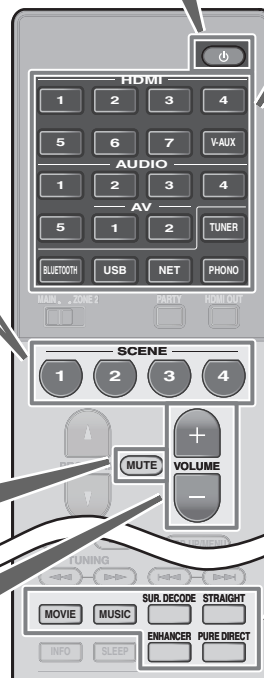
**ENHANCER**：BLUETOOTH 機器や USB 機器などの圧縮音源に音の深みと広がりを加えます。

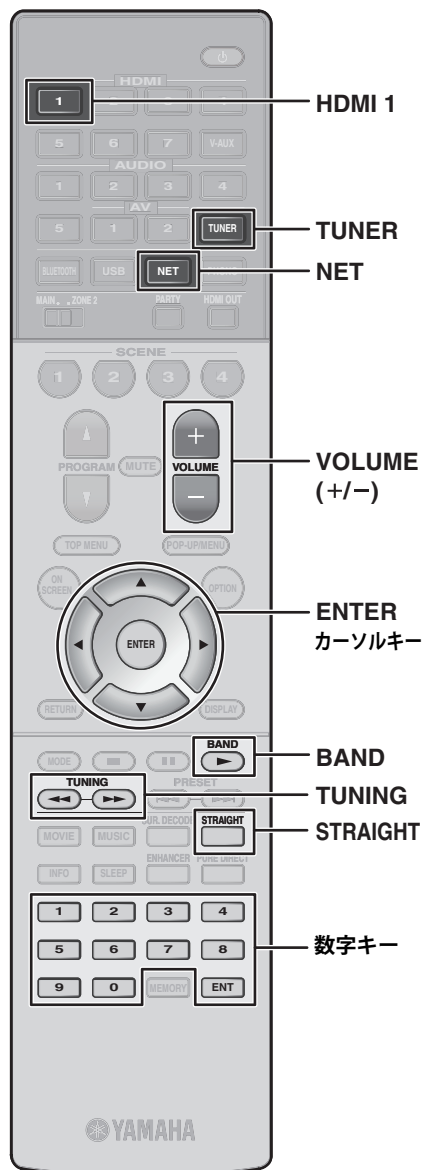
**BASS**：より豊かな低音をお楽しみいただけます。

**MOVIE、MUSIC、SUR. DECODE**：映画や音楽鑑賞に最適なプログラムが MOVIE や MUSIC で選べます。また、SUR. DECODE を使うと、音場効果を使わずに 2 チャンネルソースをマルチチャンネルで再生できます。

消音する

音量を調節する





## BD/DVD を再生する

サラウンド音を体感するために、マルチチャンネル音声 (5.1ch 以上) が収録されている BD/DVD の再生をおすすめします。

**1** BD/DVD レコーダーの電源を入れる。

**2** HDMI 1 キーを押す。

接続した機器によっては、「BD Player」などのように名称が表示されます。



**3** BD/DVD レコーダーで BD/DVD を再生する。

**4** STRAIGHT キーを押して「STRAIGHT」を選ぶ。

### NOTE

「STRAIGHT」(ストレートデコード) を選ぶと、ディスクに収録されている各チャンネルの音声は各スピーカーからそのまま出力されます。本機の音場効果はかかりません。

**5** VOLUME キーで音量を調節する。

### NOTE

スピーカーから音が出ない場合や、音の出ないスピーカーがある場合は、「取扱説明書」の「故障かな? と思ったら」をご覧ください。

## FM/AM ラジオを聴く

**1** TUNER キーで入力を「TUNER」に切り替える。

**2** BAND キーで FM/AM を切り替える。



**3** 以下のキーで選局する。

**TUNING キー**：周波数を切り替えます。約 1 秒押し続けると、放送局を自動でサーチします。

**数字キー**：周波数を直接入力します (例：82.5MHz を選ぶ場合は「8」「2」「5」と入力します)。



ラジオ放送受信中は「TUNED」が点灯します。ステレオ放送の場合は「STEREO」も点灯します。

### NOTE

本機は FM 補完放送 (ワイド FM) に対応しています。

## インターネットラジオを聴く

**1** NET キーを繰り返し押して、入力を「NET RADIO」に切り替える。

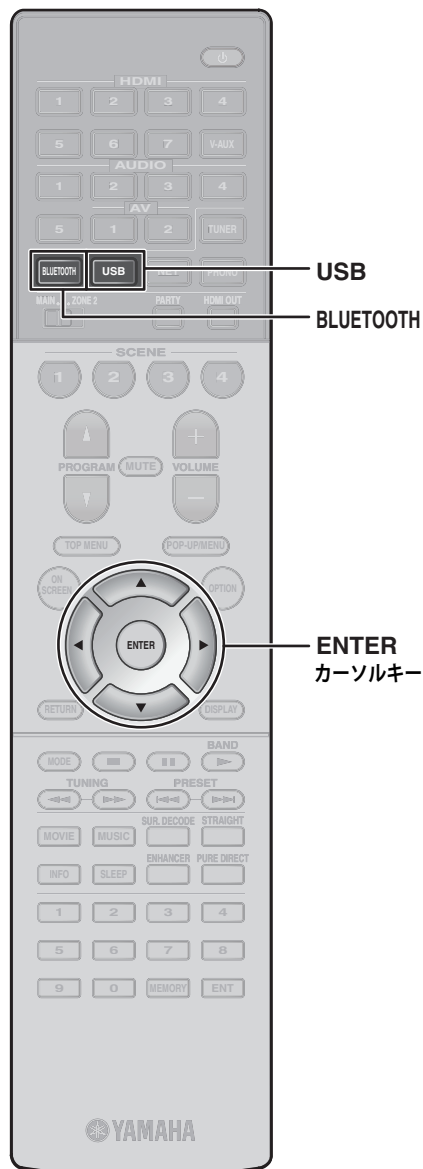
テレビにブラウズ画面が表示されます。

**2** カーソルキーでインターネットラジオ局を選び、ENTER キーを押す。

ラジオ局を選ぶと再生が始まり、再生画面が表示されます。

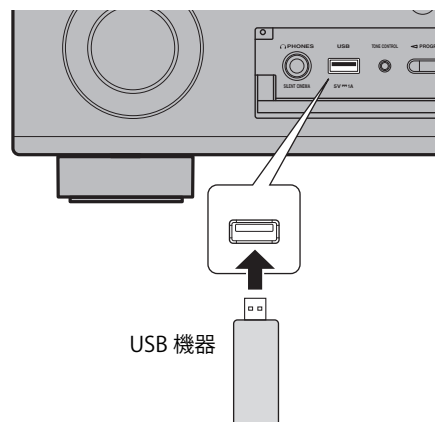
### NOTE

モバイル端末にインストールした MusicCast CONTROLLER アプリを使って、インターネットラジオ局を選ぶこともできます。



## USB 機器の曲を再生する

### 1 USB 機器を USB 端子に接続する。



#### NOTE

USB機器は直接本機のUSB端子に接続してください。延長ケーブルなどは使わないでください。

### 2 USB キーを押し、入力を「USB」に切り替える。

テレビにブラウズ画面が表示されます。

### 3 カーソルキーでコンテンツを選び、ENTER キーを押す。

曲を選ぶと再生が始まり、再生画面が表示されます。

## Bluetooth 機器の曲を再生する

- 1 BLUETOOTH キーを押し、入力を「Bluetooth」に切り替える。
- 2 Bluetooth 機器を操作し、使用可能なデバイスのリストから本機（本機のネットワーク名称）を選ぶ。

パスキー（PIN）の入力を要求されたら、数字の「0000」を入力します。

Bluetooth 機器と接続すると、本機の前面ディスプレイの★インジケータが点灯します。

### 3 Bluetooth 機器を操作して曲を再生する。

#### NOTE

本機で再生している音声を Bluetooth スピーカー / ヘッドホンに送信して聴くことができます（Bluetooth 入力のあるときを除く）。詳しくは、取扱説明書の「本機の音声を Bluetooth 対応スピーカー / ヘッドホンで再生する」をご覧ください。

## 取扱説明書について

本機には、ほかにも多くの機能があります。詳しくは「取扱説明書」（付属）をご覧ください。

PDF 版は以下のウェブサイトからダウンロードできます。

<http://download.yamaha.com/jp/>

Manual Development Group  
© 2017 Yamaha Corporation

2017 年 2 月発行 KS-A0  
Printed in Malaysia

ZW78040